



所在地 妙高市関山 1660 番地

電 話 82-2025 FAX 82-2063

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/myoko-c/otayori>

## 1 学校の概要

(1) 創 立 昭和48年2月1日

(2) 教職員 校長 江口賢哉 教頭 関原和人  
教諭6名 養護教諭1名 主事1名  
講師1名 非常勤講師3名 教育補助  
員1名 特別支援教育支援員1名 用  
務員1名

(3) 学級編成

学 年	学級	男	女	合 計
第1学年	1	6	7	13
第2学年	1	17	12	29
第3学年	1	17	14	31
特別支援	1	3	1	4
合 計	4	43	34	77

## 2 学校経営の基本構想

- (1) 生きる力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進
  - ・特別活動における生徒主体の運営の推進と活動の連携
- (2) 社会に開かれた教育課程の実現
- ・生徒の発達の支援、家庭や地域との連携・協働体制の再構築
  - ・中体連及び市の方向性を踏まえた部活動地域移行の推進

## 3 教育目標 「自立 貢献 挑戦」

## 4 年度の重点目標及び努力事項

- (1) 重点目標  
妙高中イェナプラン教育（「妙中いいなプラン」仮称）の構築（2/2年次）
- (2) 努力事項
- ・単元指導計画（目標・評価規準・評価方法等）に基づく自己調整学習の推進
  - ・ICTの効果的な活用と対話活動の重視
  - ・生徒の主体性を引き出す学級会・生徒会・部活動
  - ・「妙中スタイル」（生徒会活動）との連携
  - ・学校運営協議会や学校関係者評価を活かしたカリキュラム・マネジメントの充実
  - ・SDGs 未来都市を志向した地域のひと・こと・ものを活かしたカリキュラムの推進
  - ・学校行事の見直しと PTA や妙高中応援隊（MOT）等学校支援機関との新たな連携

## 5 研究計画

(1) 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」を生み出す学習指導の工夫 ～生きる力の育成に向け、生徒の自己調整力をはぐくむことを中心に～

(2) 主題設定の理由

当校ではこれまで研究主題を「主体的・対話的で深い学びの基盤づくりのための学習指導の工夫」とし、ICTの活用等により、一定の成果が見られた。

今年度も、生徒が「見通しをもち、学び深め、そして振り返る」ことができるような力、いわば「自己調整力」に着目する。「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を試み、生徒一人一人が学ぶ目的や意義を把握しながら学習に取り組めるよう工夫することで、生徒の学びに対する自己調整のスキルを育成していきたい。

(3) 研究内容（今年度の重点）

- ①単元指導計画に基づく指導と評価の一体化の推進と充実
- ②生徒が「自己調整」のスキルをサイクルとして回す手立ての工夫
- ③自己申告シートとの関連を図ったレポート作成

## 6 ESD 推進計画

- ・総合的な学習の時間に、地域の自然や歴史・文化等について学び、持続可能なまちづくりを提案する。
- ・各教科の中で、SDGs を意識した授業を展開するとともに、教科横断的な学習を構築する。

## 7 主な行事の予定

- 4月：始業式、入学式、妙陵入会式、部活動結団式  
地域貢献活動（宝蔵院清掃）
- 5月：竹の子狩り遠足、生徒総会
- 6月：地区陸上・各種大会
- 7月：職場体験学習（2年）、部活動交流会、終業式、  
期末保護者会、確認テスト
- 9月：始業式、妙陵体育祭
- 10月：妙陵文化祭、上越合同新人陸上・各種大会
- 11月：中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会  
確認テスト、生徒会役員選挙、こども国際交流
- 12月：修学旅行（2年）、新入生入学説明会、期末保護  
者会、終業式
- 1月：始業式、三者面談（3年）、地区・県スキー大会、確  
認テスト（3年生）
- 2月：全国スキー大会、スキー授業（1・2年）  
期末保護者会（1・2年）、生徒総会、確認テスト  
（1・2年生）
- 3月：卒業式、公立高校一般選抜検査、終業式